

魚病対策指導事業

見奈美 輝彦・宇野悦央

魚病等実態は握指導等事業をアユを対象として行った。

魚病診断同定試験 判定された魚病名はビブリオ病，細菌性鰓病，連鎖球菌症等であった。

医薬品等残留調査 対象医薬品はスルファモノメトキシシ（3検体），硫酸コリスチン（10検体），塩酸オキシテトラサイクリン（10検体）及びオキシリン酸（10検体）であり，いずれも残留は認められなかった。